

## 対話型 AI を活用した介護事業所の生産性向上事業業務委託 評価基準

評価項目	審査内容	配点 (5段階評価)
業務内容 (システム構築)	事業目的を理解し、業務について計画性があり、計画に基づいた実現可能な提案ができているか。また、仕様書(案)に沿った提案ができているか。	20
業務内容 (運用・保守)	システム稼働後の運用体制が明確で、継続的な技術支援が可能か。 定期的な機能改善への対応計画があるか。 障害発生時の対応手順が確立されているか。	20
運営体制 リスクマネジメント	管理運営体制が確保できているか。責任体制(窓口・管理者等)が明確か。 不慮の問題が生じた際に、業務を継続できる対策を提案できているか。	20
業務実績	介護事業に関する専門知識があるか。 福祉関係で、質問に対し AI が自動応答するシステムの構築経験があるか。	30
適正価格	的確で具体的な見積項目を示し、それに応じて適正な金額を見積もっているか。 初年度に係る費用(システム構築及び保守)、次年度以降の保守費用(月額)が明確であるか。	10
計		100

## 【点数計算表】

A 優れている	【10点満点】10点 【20点満点】20点 【30点満点】30点
B やや優れている	【10点満点】8点 【20点満点】16点 【30点満点】24点
C 普通	【10点満点】6点 【20点満点】12点 【30点満点】18点
D やや劣っている	【10点満点】4点 【20点満点】8点 【30点満点】12点
E 劣っている	【10点満点】2点 【20点満点】4点 【30点満点】6点
記載がない等	0点

# 対話型 AI を活用した介護事業所の生産性向上事業業務委託

## 【プロポーザル方式評価基準】

### ■評価基準

別紙のとおり評価項目及び配点等により評価する。

審査委員1人あたり100点満点として、6人の点数を合算する(計600点満点)。

### ■ヒアリング

1参加者あたり15分程度の説明を受け、その後10分程度の質疑応答を行う。

### ■採点が同数の場合の取り扱い

見積金額が安価な方を受託候補者とする。

さらに見積金額が同額の場合は、「業務内容」の評価が高い方を受託者候補とする。

### ■最低基準点の設定

360点以上(評価:普通以上)とする。